



高場 保信さん

夢 追

(株)アルファタカバ

代表取締役 高場 保信さん

高場 美加さん

小早川 亜紀子さん



高場 美加さん

い 人



小早川 亜紀子さん

(株)アルファタカバでは、独創的な家具造りに力を注いでいる。市場のニーズに敏感な営業の声をくみ上げながら、女性の目に訴えかける、デザイン、機能を持たせた製品が特長だ。

近年、「男」が創った家具は売れにくいと言われる。購入の鍵をにぎっているのは女性。女性にアピールする家具造りが肝要のようだ。この点、社長の二人の娘さん、高場美加さん(長女)、小早川亜紀子さん(次女)は秀逸なデザイナーとして会社を支えている。

次女の小早川亜紀子さんが、最近発表した「アンファンシリーズ」は、今までにないコンセプトでデザインされている。アンファンとは、フランス語で、「子供」。子供が楽しく遊べて成長と共に機能的に使えるカラフルな家具になっている。

どのような家具であろうか。一部の引き出しの前面には、子供が喜ぶ鏡や、写真や絵を入れられるアクリルボードをはめ込めるようにされている。実は亜紀子さん、昨年の八月にママになったばかり。現役ママの発想でつくった。「子供が遊び道具としての鏡、色に大きな興味を示したことから、デザインのヒントを得ました。」という。

他にどんな特長があるのだろうか。「鏡やボードは子供が叩いても割れないようプラスチック製にしています。子供が安全なようにつまみなどは使わず、くり手を見えない位置にあげています。それに引き出しは入れ替えが自由なので、ハイハイ時は一番下、タッチ、幼児期は三段目...という風に使えます。また引き出しは市販のおむ

Blanc、Noir、Rougeを使ったシンプルなデザインが魅力の

ブランワージュシリーズ





子供が楽しく遊べるように

アンファンシリーズ

つバックやおもちゃがラクラク収納できるようなタイプになっています。ワードローブも成長に応じて高さを変えられるようにしています。」

ママにぴったりの家具。今後の展開として、家具屋まで足を思うように運べない妊婦や子育て中の主婦のため、インターネットや雑誌を通じての通販も視野に入れている。八月十九日に実用新案を申請したばかりである。

さて、長女の美加さんはキャリアのあるデザイナー。最近のお勧めは、ブランワージュシリーズ。

ブランワージュは、Blanc(白)、Noir(黒)、Rouge(赤)の合成語である。その名の通り、三色を使ったシンプルなデザイン。表面は光沢のあるUV塗装、ピアノ塗装が施されている。引き出しは組み合わせ自由になっている。部屋の雰囲気や気分に応じたレイアウトが可能だ。モダンでスマートな製品だ。

美加さんは、「案外、洋室だけでなく、和室にも合うのではないかと思っています。このシリーズはギフトショーに出品を予定していますが、若い女性をターゲットにしていますから、ディスプレイを中心とする、インテリアショップでの展開を考えています。」と語る。

さて、「かずら」シリーズは、営業の声を集約してつくられた。種類も多く、売れ筋になっている。チェスト、ロッ

カー、フリーボード、座卓、テレビ台等々がある。手頃な値段設定になっている。和室における家具で、桐材にサンドブラストをかけた「うずくり」。傷が目立たない特長もある。

各地に出張し、生の声を聞く営業の提案を重視し、企画され、改善されてきた。消費者のニーズをまさに捉えた格好の製品である。

最後に社長の高場保信さんに今後のことを伺った。ベーシックな家具から個性ある、特に女性に訴える家具を目指すことを話してくださいました。それにもう一つ。キーワードは『和』。こういわれる。「輸入品の家具が台頭している中で、私たちは日本の古くからの伝統を見つめ直す必要があると思っています。今台湾で家屋に日本間を取り入れるのがステータスになっていますが、このように『和』は本来非常に魅力的なモノだと思います。日産自動車のデザインの中にも今『和』が取り入れられていると聞きます。これからは洋から和にシフトして日本にしかできない家具造りを目指したいですね。」

(株)アルファタカバでは、女性や営業の声を取り入れた家具はもちろんのこと、今後益々『和』の感性が色濃く反映した製品が生まれることだろう。これからも個性



かずら

消費者のニーズを捉えて作られた